



【問い合わせ】 町人権啓発福祉センター (役場人権推進課 人権推進係)
☎(293)7920

さまざまな人権を考える

今回からシリーズでさまざまな人権問題についてお知らせしていきたいと思ひます。今回は、「女性の人権」「ハンセン病回復者などの人権」の2つを紹介しします。

この3つの行為はテレビなどでよく聞いていると思ひますが、女性に対する人権侵害は、後を絶たない状況です。今後は、女性に対する暴力の撲滅、お互いが対等な立場で話し合い、助け合える関係を作ることが重要となってきます。

次にハンセン病とハンセン病回復者などの人権について考えてみます

ハンセン病の原因は、らい菌という細菌が人間の体内で増殖し、皮膚と末梢神経が侵される慢性感染症で

「セクシャルハラスメント」とは、相手の意に反し、性的な言動や暴力によって心身を傷つけることで、異性間だけでなく同性間でも起きます。「ストーカー行為」は、好意など一方的な思ひを、特定の人に押し付け、つきまとひ、傷つける言動を繰り返して行う行為です。内容は年々エスカレートしているようです。

「ドメスティックバイオレンス(DV)」は、親しい間柄でも男女間における暴力などで精神的、身体的暴力を行うことです。

なぜハンセン病と云うことで偏見や差別をされなければならなかったのでしょうか？ 明治時代、諸外国からハンセン病患者を放置していると非難を浴びた政府が、ハンセン病患者を一般社会から隔離する政策をとり、療養所に強制隔離させました。さらに、「国が法律までつくって隔離するのだから、ハンセン病は感染しやすい怖い病気だ」という誤った考えが社会の中に広まって「怖い病気」として定着したからです。

効果的な治療薬が出てくるまでは、長い間「不治の病」と考えられていました。家族内で多く発病することから遺伝する病気と思われていたことなども差別されてきた理由です。

さらに、療養所内での結婚の条件として断種や人工妊娠中絶が行われる厳しい差別の実態がありました。ハンセン病回復者などが社会復帰できる環境を作り整えるためには、みんなが病気のことをもっと理解しなければなりません。

偏見や差別をなくすためにハンセン病を正しく理解しましょう。

熱中症に注意！

熱中症に注意が必要な時季になりました。今年、東日本大震災の影響で例年にも増して節電意識が高まっているので、熱中症の危険性が叫ばれています。

熱中症とは

熱中症は、高温多湿などの環境の悪化で、体内の水分や塩分(ナトリウムなど)のバランスが崩れたり、発汗や循環機能に異常をきたし、体温の調節がうまくできなくなったりすることによって起こります。▽気温が高い▽湿度が高い▽風が弱い▽急に暑くなった日などは、特に注意が必要です。症状が重くなると死に至る可能性もあります。正しい予防法と応急処置を知っておきましょう。

熱中症は予防が大切

水分を小まめに補給しましょう。
朝晩、食事の時や入浴の前後にコップ1杯の水を飲むように心掛けましょう。食間(1〜2時間おき)や出かける前の水分補給と、汗をかいたら塩分の補給を忘れず、1日で1.3〜1.5リットルの水分補給ができるようにしましょう。

日常生活では

- ▼日傘や帽子を使用し、日陰で暑さを避ける。
 - ▼服装は、涼しい素材や白系統を心掛ける。
 - ▼喉が渇く前に定期的に水分を取る。
 - ▼十分な睡眠を取る。
 - ▼体調不良な人は、特に注意する。
 - ▼具合が悪くなったなら早めに病院に行く。
- 運動するときは
- ▼運動時の気温や湿度を把握する。
 - ▼スポーツドリンクなどで小まめに水分を。
 - ▼30分に1回程度の休息をとる。
 - ▼急に暑くなった時は運動を軽くする。
- 高齢者で注意する(1)
- ▼喉の渇きを感じにくいので、早めに水分を。
 - ▼暑さを感じにくいので、扇風機やエアコンを効果的に使用し、部屋の温度を調節する。
- 子どものいる家庭では
- ▼体温調節機能がうまくできないので、十分に注意する。
 - ▼顔色や汗の状態をよく見て、汗がひどい時は涼しい場所で休息させ、水分を補給する。
 - ▼短時間でも、子どもだけを車内に残さない。

こんな症状があれば熱中症！

熱中症の症状を3つの重症度に分けると…

- 【1度：軽症】▽めまい、立ちくらみがある▽筋肉のこむら返りがある▽大量の発汗がある
- 【2度：中等度】▽頭が痛い▽気分不良、吐き気がする・吐く▽体がだるい
- 【3度：重症】▽意識がない▽けいれんしている▽呼びかけに対し返事がおかしい▽真っ直ぐに歩けない・走れない▽体温が高い

熱中症になったときには…

- ・すぐに風通しが良く涼しい場所や、エアコンが効いている室内に移動させましょう。
- ・衣類をゆるめ、水平位か上半身をやや高めに寝かせます。顔色が蒼白で脈が弱い時は足を高くした体位にします。
- ・できるだけ早く冷やして体温を下げます。皮膚を水でぬらし、うちわや扇風機で風を送り、体温を下げます。
- ・氷のうやぬれタオルを太い血管がある脇の下、首、足の付け根に当て、冷やします。
- ・吐き気がなければ、冷たい水やスポーツドリンクを飲ませ、塩分をとらせます。
- ・意識がなく、自力で水分が取ることができない場合、または症状が改善しない場合などはすぐに病院に行きましょう。

「はとぽっぽクラブ」農園活動

はとぽっぽクラブでは、野菜や果物などを植えています。親子で農作業や土に触れることで、自然や動植物に興味や関心が芽生えることを願って毎年行っています。6月には、夏野菜やからいもの苗を植え、土と親しみました。また収穫したエンドウ豆でエンドウ豆蒸しパンを作り、収穫を喜び合いました。

秋にはからいもでつくった昔のおやつが食べられるのを楽しみに育てています。



南杉水人権ふれあいフェスティバル

「人とひとが認め支えあふ豊かな関係」をスローガンに南杉水人権ふれあいフェスティバルが開催されます。当日は、ステージイベント、バザー出店などのいろいろなお楽しみがあります。ぜひお越しください。



○日時 8月20日(土)午後5時
○場所 人権啓発福祉センター 南側児童公園
○問い合わせ 南杉水人権ふれあいフェスティバル実行委員会 (町人権啓発福祉センター)
☎(293)7920

人権ニュース